

# 「第 53 回修習技術者支援セミナー・第 9 回技術者倫理セミナー」報告

R6.3.30

令和 6 年 3 月 30 日（土）に高知県民文化ホール多目的室において、第 53 回修習技術者支援セミナー・第 9 回技術者倫理セミナーを合同で行った。セミナーの参加者は、技術士、修習技術者並びに令和 5 年度第一次試験合格者などであり、参加人数は、23 名であった。

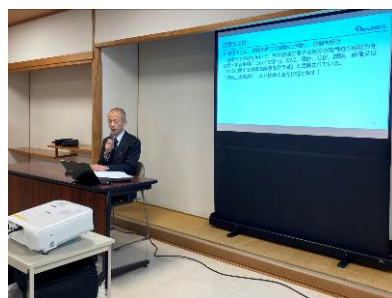
## 【修習技術者支援セミナー】

### 〈技術士試験と修習のあり方について〉

発表者：修習技術者支援委員会 委員

佐川徳和 氏

佐川氏から「技術士試験と修習のあり方について」と題して、技術士制度と修習課題と求められる資質能力について発表があった。



佐川氏の発表

まず、技術士制度の概要として、技術士の定義、技術士の登録部門、修習技術者などについて説明を行った。次に、「修習技術者のための修習ガイドブック 第 3 版」に整理されている 3 つの基本修習課題とそれぞれに求められる資質・能力について解説を行った。

最後に、修習のあり方と佐川氏の実践している具体的な修習事例の説明があった。修習事例は、3 つの基本修習課題に対する自己分析やそれぞれの課題・対策が整理されていた。

資料内容はわかりやすく整理されており、具体的な修習事例の説明があったことは、現在、修習技術者として修習に取り組んでいる方や、これから修習技術者になる新規合格者にとって参考になる発表であった。

### 〈令和 5 年度第一次試験合格者紹介〉

令和 5 年度技術士第一次試験合格者 3 名の方が

本セミナーへの参加があった。

それぞれ合格者の方から、自己紹介と今後の抱負などの話をした。



第一次試験合格者の方々

### 〈令和 5 年度第二次試験合格者体験談〉

発表者：池田浩二 氏（建設部門）

酒井大輔 氏（建設部門）

令和 5 年度技術士第二次試験合格者 2 名の方から、合格体験談について、講話があった。



池田氏・酒井氏の発表

池田氏からは、100km マラソンやトライアスロンに取り組んでいたが、コロナ禍によりこれらの競技ができなくなったことをきっかけに技術士取得を目指し、勉強を始めたことや、勉強時間を確保するため、早朝に出社したり、図書館を利用したりしたこと、試験対策として利用した書籍などの発表であった。

酒井氏からは、技術士第二次試験への挑戦の経緯や試験の勉強方法についての発表であった。先輩職員に刺激され技術士取得を志した酒井氏は、今回合格した建設部門は、令和 3 年度合格の上下水道部門に続く 2 部門目の技術士取得であった。

二人の発表は、これから受験を目指す修習技術者にとって参考になる発表であった。

## 【技術者倫理セミナー】

### 〈技術士倫理綱領の改定について〉

発表者：倫理小委員会 委員長 横山成郎 氏

横山氏から令和5年8月に改定された技術士倫理綱領の内容について発表があった。



横山氏の発表

まず、技術者倫理の概念につ

いて、法・モラルとの関係性を基にわかりやすく解説を行い、技術者倫理がなぜ必要なのか説明があった。

次に、技術士倫理綱領の改定内容について、前文、第1条～第10条まで改定前と改定後それぞれの対比を行いながら、その解説があった。

今回の技術士倫理綱領は、価値基準7原則の大分類と、配列順の見直しがあったことや、実践につなげるため、「志向倫理」化や「技術者倫理綱領への手引き」の編纂が行われたことが大きな改定点であった。

技術者倫理の講話は、難解な用語が並ぶ形式的な説明になりやすいが、今回の発表では、若手技術者にも理解しやすいように解説がなされており、分かりやすい講話であった。

### 〈技術者倫理グループワーク〉

技術者倫理綱領の改定に関する講話の後、セミナー参加者を4班に分け、グループワークを行った。グループワークは、「駐車場に植えたばかりの木」と題する事例について、この事例を解決するための課題と解決策、最善策を協議、検討するものであった。



各グループの発表

今回のグループワークは、時間が短く、与えられたテーマも条件設定が難しかったことから、参加者の方は、非常に苦労しながら、ディスカッションを行っていた。

グループワークの発表は、修習技術者の方を中心に、セミナーに参加している技術士の方のサポートを受けながら行われた。各班ともに条件設定や課題の抽出、解決策の提案など、適切に整理されており、良い発表であった。

### 【技術士第一次試験合格者祝賀会】

セミナー終了後、場所を移動し、技術士第一次試験合格者祝賀会を開催した。参加者は13名、うち新合格者は2名であった。



祝賀会参加者の集合写真

祝賀会では、セミナー発表内容やグループワークに関するさらなる議論が活発に行われた。

### 【アンケート結果】

本セミナーのアンケート結果は、別途添付するアンケート集計結果のとおりである。アンケートは22名の提出あり、回収率は96%であった。

参加者は高知県が76%、技術部門は建設部門が90%、年齢構成は20代10%、30代19%、40代10%であった。また、セミナーへの初めての参加の方が修習技術者支援セミナー、技術者倫理セミナーともに50%前後であった。

セミナーの感想は、どの発表に対しても「分かりやすかった」、「大変参考になった」といった意見が多数を占めていた。

年度末の土曜日の開催であったが、それぞれの発表や講話、技術者倫理グループワークなど、参加した修習技術者や技術士にとって有益なセミナーであったと考える。

次回以降のセミナーにおいても講義と発表だけでなく、今回のような参加型のグループワークなどの場を設けることも大切であると感じた。

—以上—

# 第53回修習技術者支援セミナー・第9回技術者倫理セミナー アンケート

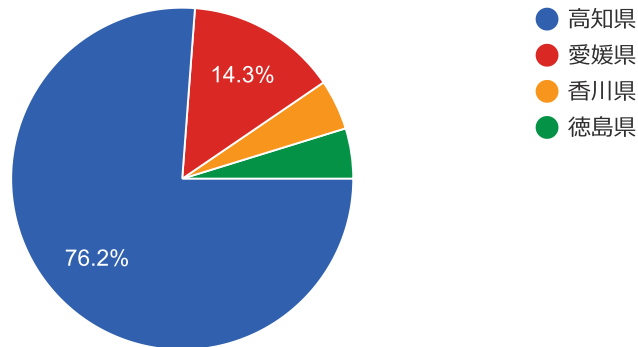
22 件の回答

[分析を公開](#)

## Q1 あなたの主たる活動地域を教えてください

[コピー](#)

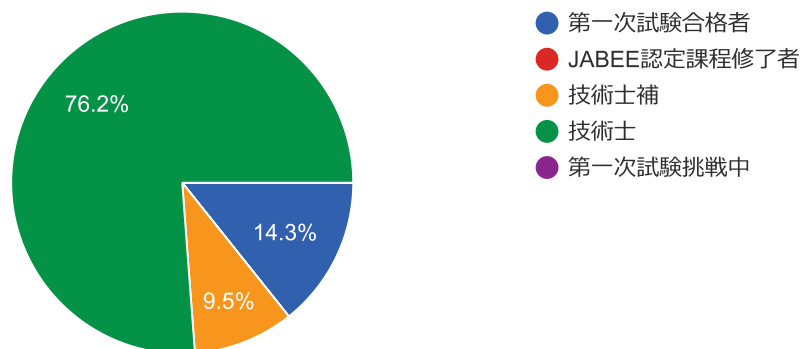
21 件の回答



## Q2 技術士に関する資格を教えてください

[コピー](#)

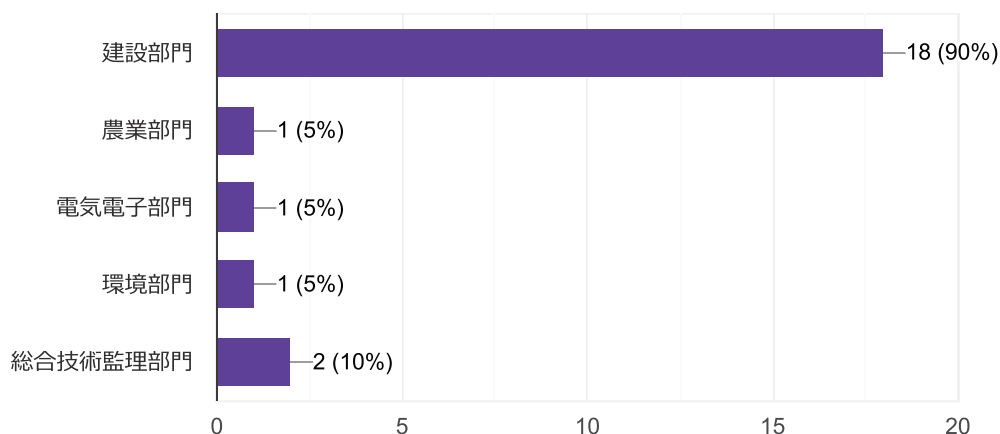
21 件の回答



## Q3 登録または受験予定の技術部門を教えてください

[コピー](#)

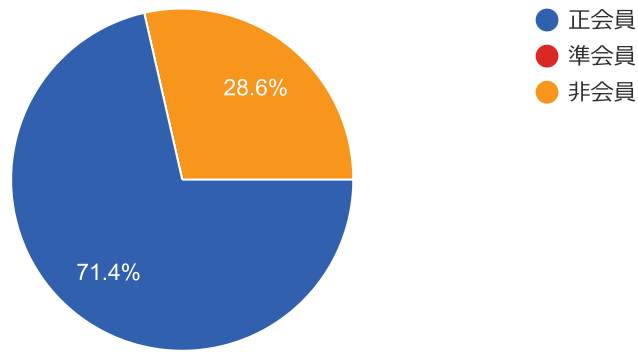
20 件の回答



#### Q4 日本技術士会の会員資格を教えてください

コピー

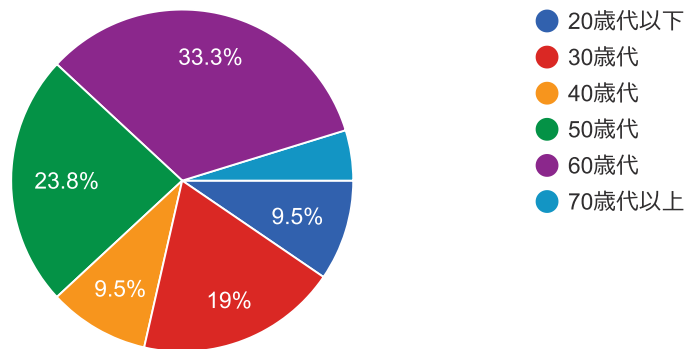
21件の回答



#### Q5 あなたの年齢を教えてください

コピー

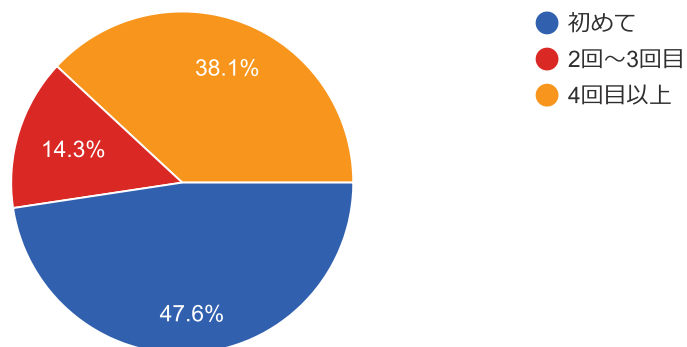
21件の回答



#### Q6 「修習技術者支援セミナー」への参加は、今回で何回目ですか

コピー

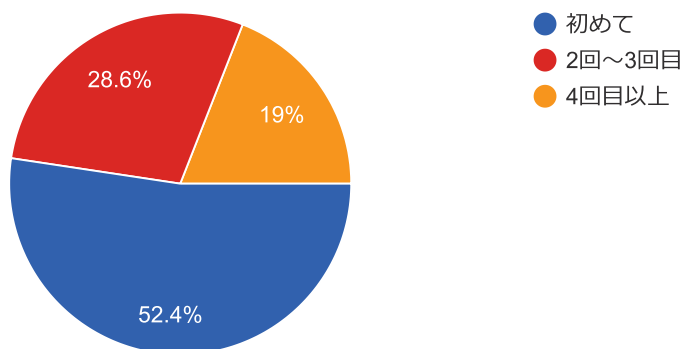
21件の回答



### Q7 「技術者倫理セミナー」への参加は、今回で何回目ですか

コピー

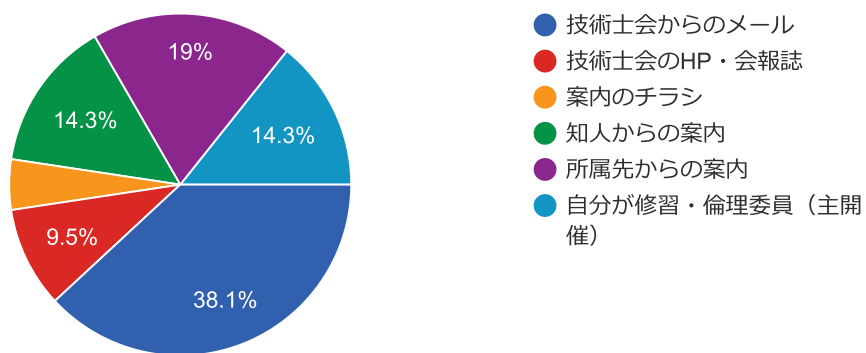
21件の回答



### Q8 今回のセミナーを知ったきっかけはなんですか

コピー

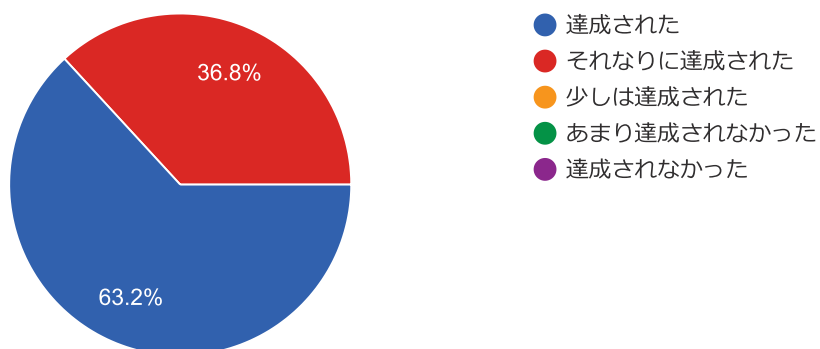
21件の回答



### Q9 セミナーに参加して目的は達成されましたか

コピー

19件の回答



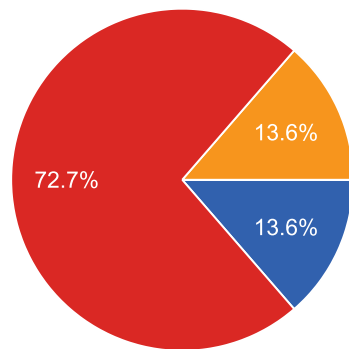
アンケート裏面



### Q10 【講義】技術士試験と修習のあり方について

コピー

22 件の回答

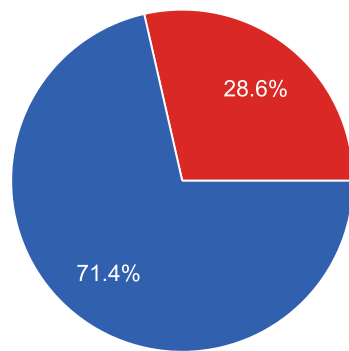


- すでに知っていることが多かった
- とても分かりやすかった
- それなりに理解できた
- 多少理解できた
- よくわからなかった

### Q11 【発表】技術士二次試験合格体験談について

コピー

21 件の回答

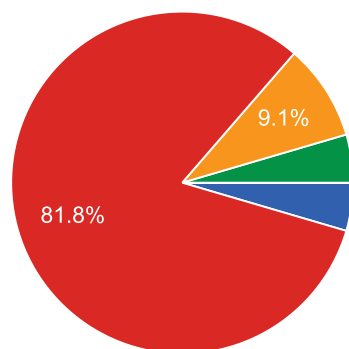


- 大変参考になった
- ある程度参考になった
- 少しは参考になった
- あまり参考にならなかった
- まったく参考にならなかった

### Q12 【講義】技術士倫理綱領の改定について

コピー

22 件の回答



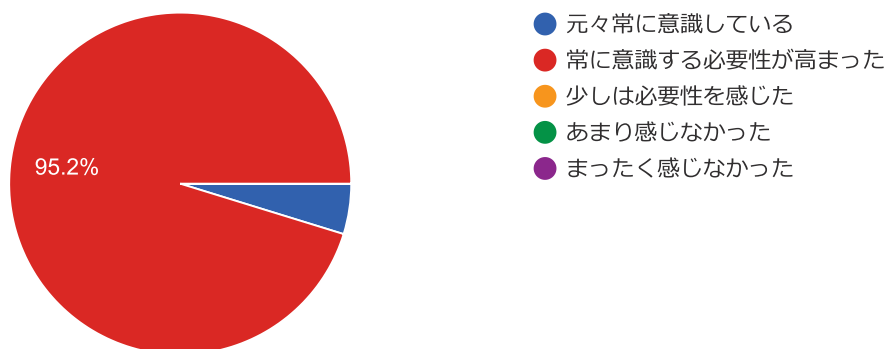
- すでに理解していた
- よく理解できた
- それなりに理解できた
- 多少理解できた
- まったく理解できなかった



### Q13 【グループワーク】技術者倫理の意識について



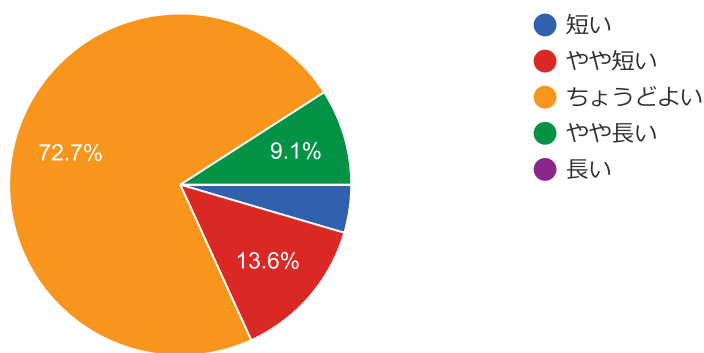
21 件の回答



### Q14 セミナーの時間について



22 件の回答



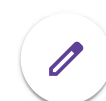
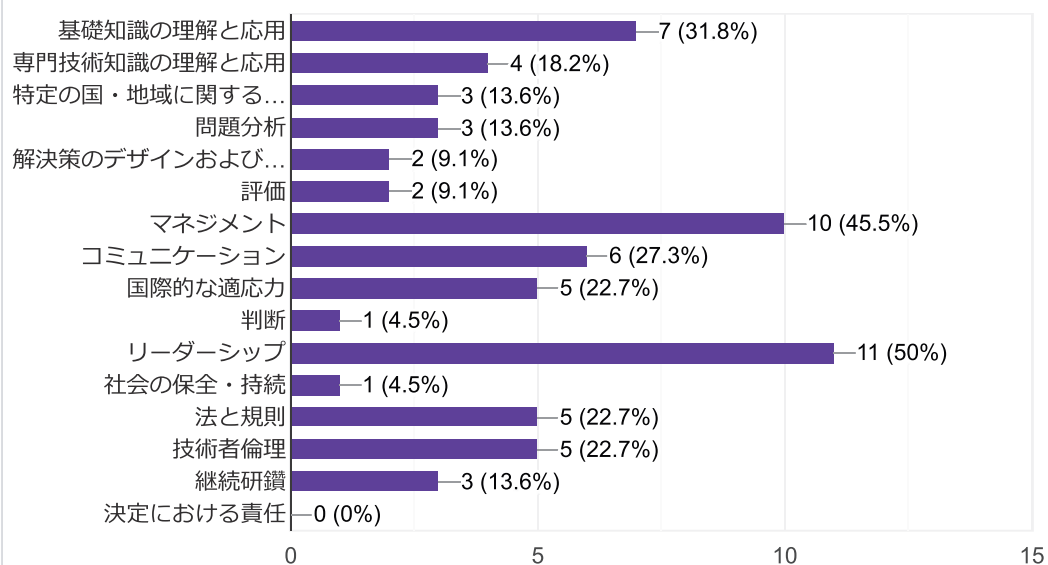
### Q15 技術士となるための資質・能力について、あなたが不足していると思われるものを選んでください（複数回答可）



※技術士の方も「高めたい資質・能力」としてお答えください



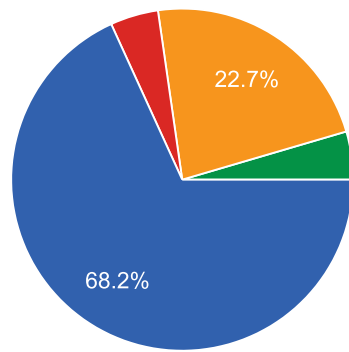
22 件の回答



## Q16 今後のセミナーへの参加について

コピー

22 件の回答



- 今後も参加する
- 知人を誘って参加したい
- テーマや内容によって参加する
- 時間的余裕があれば参加する
- 開催方式（対面、リモート）によっては参加する
- 今後は参加しない

## Q17 自由意見などお願いします

2 件の回答

今後もセミナーには参加したい。

技術士試験受験の意欲が高まった。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

